

学認クラウドゲートウェイサービスの概要、 アップデート

2022年6月1日

NII学術情報基盤オープンフォーラム2022

国立情報学研究所

クラウド基盤研究開発センター／クラウド支援室

西村 健

「学認クラウド」は、クラウドの導入・利活用を支援する国立情報学研究所のサービス群の総称です。

<https://cloud.gakunin.jp/>



導入検討 調達

活用

学認クラウド 導入支援サービス



選択の基準や、導入・活用に関わる情報を整備し、お伝えするサービス

2016年9月サービス開始

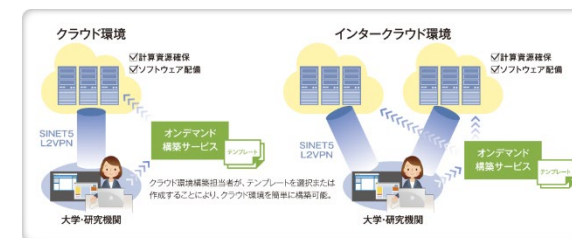
学認クラウド ゲートウェイサービス



クラウドサービスにワンストップでアクセスするためのポータル機能

2017年7月サービス開始

学認クラウド オンデマンド構築サービス



研究教育のためのクラウド環境構築を技術的に支援

2018年10月サービス開始

学認クラウドゲートウェイサービス ～大学・研究機関の認証基盤とクラウドの橋渡し～

- 一言でいえば、アクセス者が利用できるサービスを一覧にしたポータル
- 所属機関で利用可能なサービスが一覧できる
 - 機関毎のカスタマイズ（契約・連携しているサービスの指定/入力）
 - 個人毎のカスタマイズ（並び順の変更や個人利用サービスの追加）



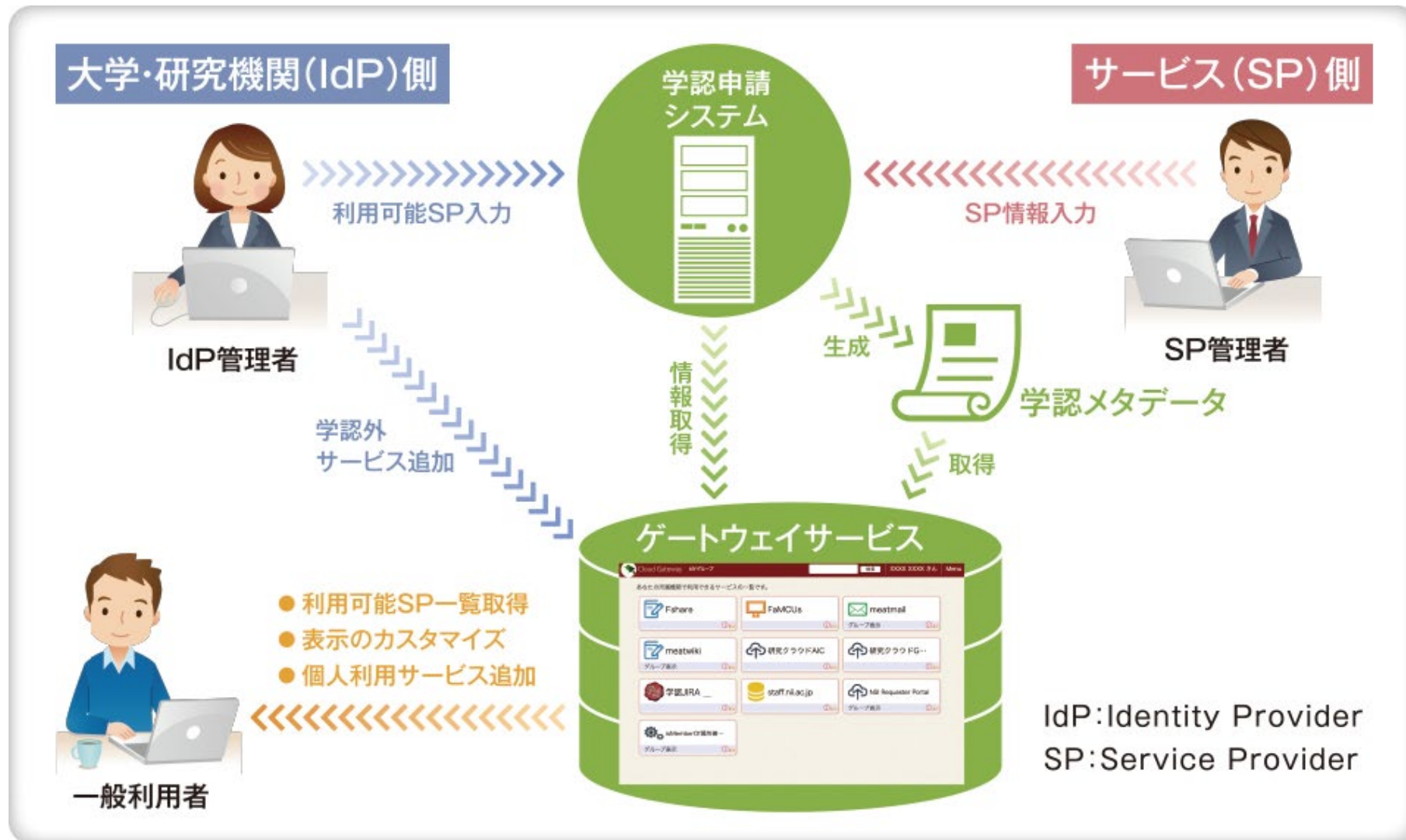
利用者のアクセス例

- 利用者は、ゲートウェイサービスを経由してe-Learningサイトやe-Journalサイトにアクセス



- ゲートウェイサービスに表示されているサービスは利用可能である
= 安心してアクセスできる
- ふらっと、あるサービス(e-Learning B)にアクセスして、
利用できなくて困る、ということがなくなる

ゲートウェイサービスの登場人物と役割



※学認 - 大学・研究機関の認証基盤と商用・非商用のオンラインサービスのためのSSOのための枠組み

- 機関が契約・連携しているサービスを登録できる
 - IdP管理者が登録したサービスは全構成員に提示される
 - 機関で契約しているクラウドサービス
 - 学内サービス など
- 学認参加サービス(SP)であれば一覧から選択するだけ
 - IdPが属性送信設定しているSPに合わせて選択する
 - 学認申請システムでの設定 or ゲートウェイサービスに直接入力
 - ここで「利用可能」と指定されたものが、構成員に提示される

前提

- 学認に参加済みの機関からご利用いただけます
 - ゲートウェイサービスがSPとして所属機関を確認するため



- グループを作成しメンバーを登録しておくことで、そのグループ固有のサービスをメンバーのゲートウェイサービス画面に組み込み可能
- グループの例：共同研究グループ、研究室、etc.
- 学認のGakuNin mAPサービスで培ってきたグループ機能を継承
 - 連携実績あり：meatwiki、しばすけ等
- 利用者の「自分が使うべきサービス」が一覧できる

例：所属機関が契約しているサービス…

- Elsevier Science Direct
- Clarivate Analytics: Web of Science
- Wiley Online Library
- など

…と共同研究で利用しているサービス…

■共同利用Wiki (meatwiki)

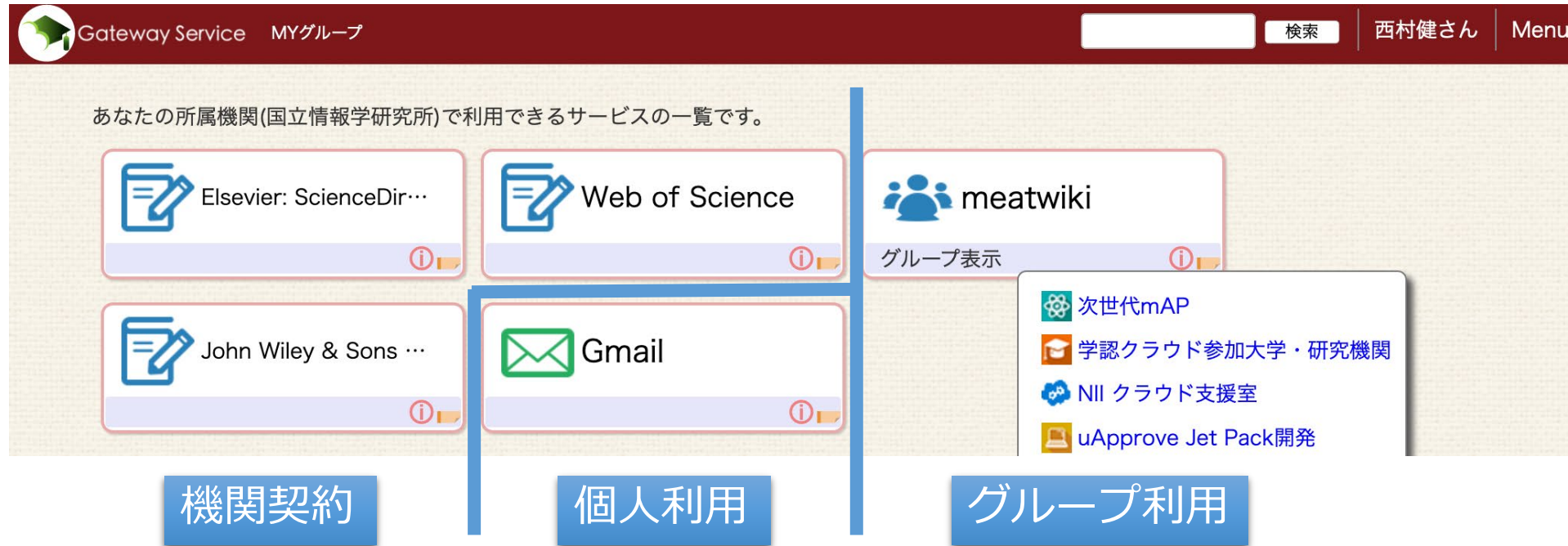
グループ機能を利用したより細かな単位で利用サービスを登録可能。グループメンバーだけにそのサービスが表示されます。

…と個人的に利用しているサービス…

■GoogleのサービスとかMicrosoftのサービスとか

学認(所属機関IdP)でログインするものに限らず、自分がよく使うサービスを追加できます

…を一覧で表示する



Gateway Service MYグループ

あなた所属機関(国立情報学研究所)で利用できるサービスの一覧です。

Elsevier: ScienceDir... Web of Science meatwiki

John Wiley & Sons ... Gmail

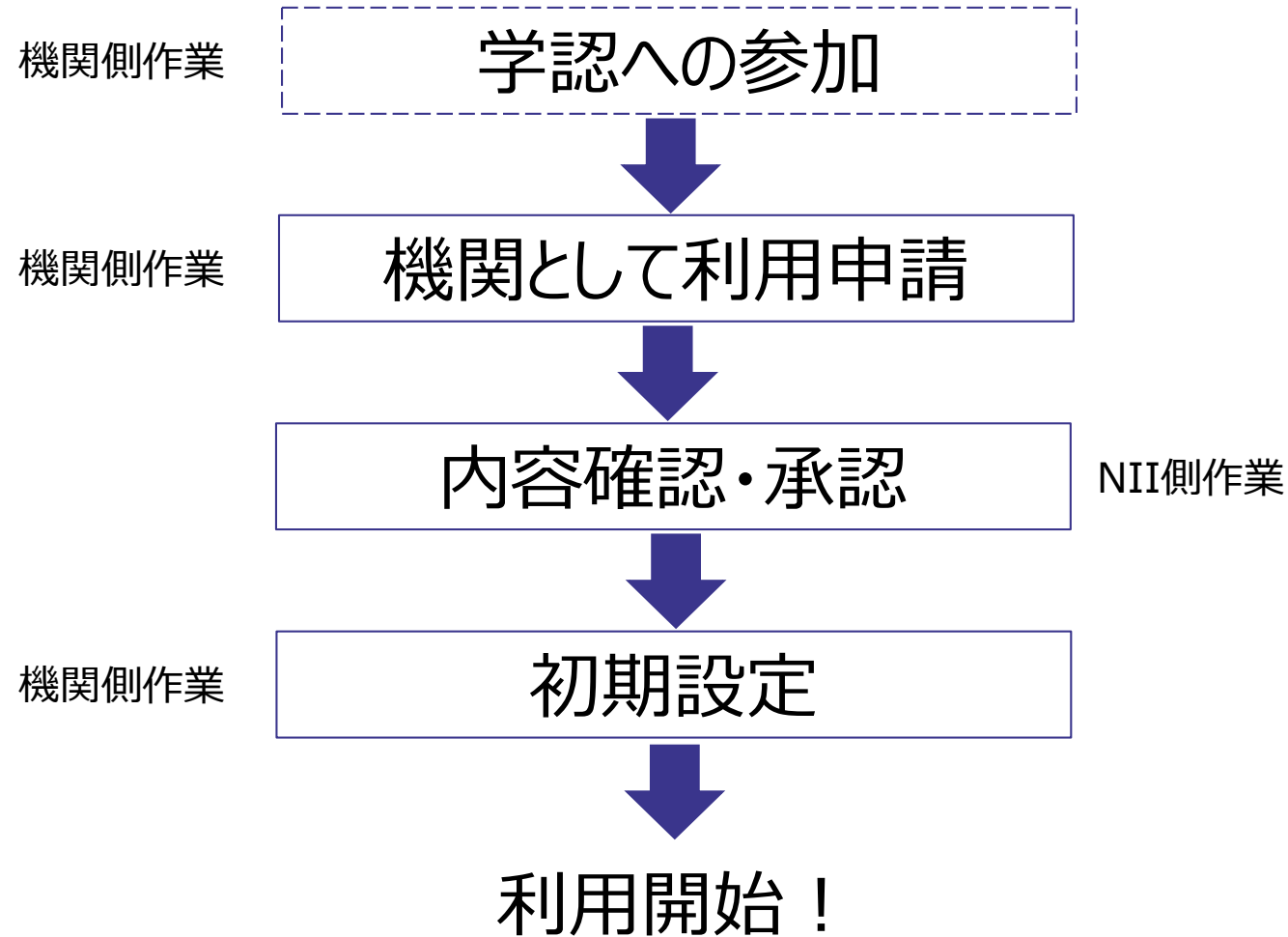
グループ表示

- 次世代mAP
- 学認クラウド参加大学・研究機関
- NII クラウド支援室
- uApprove Jet Pack開発

機関契約 個人利用 グループ利用

よく使うサービスを上部に配置することが可能。
この画面を起点として各種サービスにアクセスできます。
他の利用者への案内（「ゲートウェイサービスから〇〇
をクリックしてください」）も楽です！

利用開始までの流れ



ゲートウェイサービスを使うメリット

- 利用者の立場から
 - 自分が使えるサービスが一覧できる
(使えないサービスで迷わない)
 - サービス一覧をカスタマイズできる

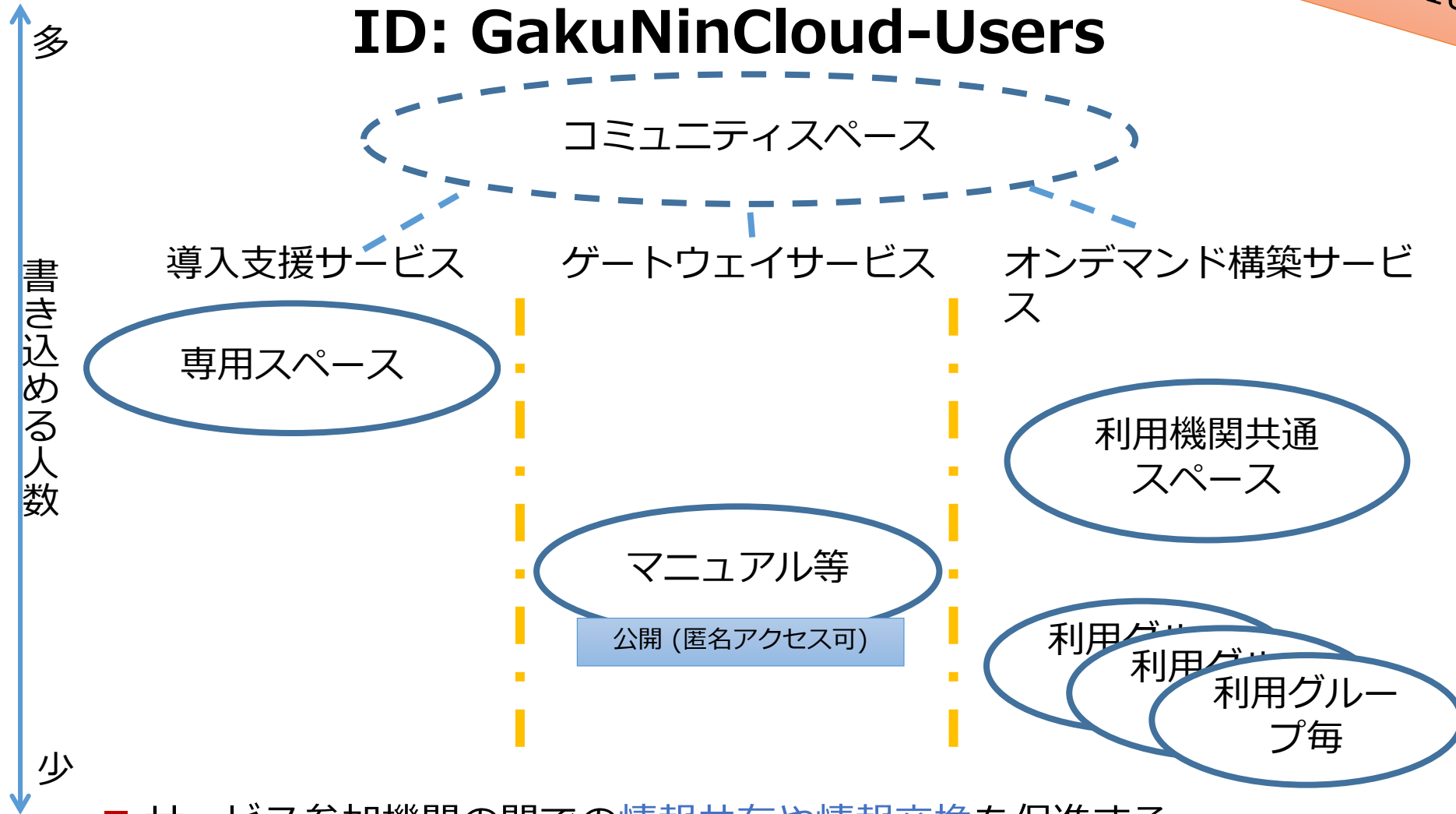
- 学術機関(IdP)の立場から
 - 教員/職員を利用させたいサービスに誘導できる
 - 機関独自にポータルを用意する手間がない

- サービス提供者の立場から
 - サービス掲載によって利用者の目に留まる

ゲートウェイサービス アップデート

学認クラウドコミュニティスペース

2021年10月運用開始



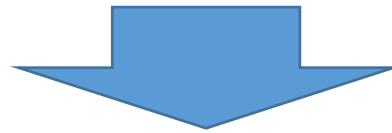
- サービス参加機関の間での情報共有や情報交換を促進する
- 既存のグループと接続することで再招待の手間なし (除ゲートウェイ)
- サービスの垣根を越えた情報共有・交換も

コミュニティスペースの概説

- 去年10月に運用開始しました
- サービス利用にあたっての情報交換・情報共有
- 詳細は下記をご参照ください
 - 学認クラウドコミュニティスペースについて
<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/kJfDB>

ゲートウェイサービスでの活用： コミュニティスペースによるサービス情報更新

- ゲートウェイサービスに表示される一部サービスの情報が不完全という指摘あり
- SP自身からの情報提供のみでは限界がある
 - 例えば、英語情報しかない
 - サイトの更新に追従できていない場合もある
 - 特に1SPに複数サービスが存在する場合の情報が少ない



- 参加機関のみなさまが読み書きできるWikiスペースを提供します
- 現在ゲートウェイサービスが保持しているサービス名・アイコン・紹介文・リンク先を1ページで提供します
- いずれかの情報改善案をお持ちの方はコメントでお寄せください
- 定期的にコメントを集約しゲートウェイサービスの設定を更新します

ゲートウェイサービスでの利用例

- 例（同じNII提供のものでイメージしにくいですが、GakuNin RDM）

サービス名	GakuNin RDM
アイコン	 GakuNin RDM
ロゴ	 GakuNin RDM 
紹介文	GakuNin RDMは国立情報学研究所(NII)が提供する研究データ管理（RDM）サービスです。
リンク先	https://rdm.nii.ac.jp/
タグ(公開)	研究データ管理, GakuNin RDM, リサーチデータマネージメント, NII Research Data Cloud, NII

コミュニティスペースのアクティビティ

- 運用開始から半年あまりの間にNII側から提供されている情報をまとめてみます
- AXIES Website
 - サービス説明の補足
- GakuNin RDM
 - ロゴ追加・リンク更新
- Gale (Cengage Learning)
 - サービス名のわかりやすさのため更新
 - リンク更新
- mdx
 - ロゴ・リンク更新
 - 2つ目のサービス追加 (ユーザポータル)
- KinoDen
 - bREADER Cloudの2つ目のサービスとして追加
- OUP (Oxford University Press)
 - SP移行について情報提供
- FaMCUs
 - サービス終了について情報掲載
- researchmap
 - (コミュニティスペース上の情報誤りを修正)
- CiNii Research
 - SP移行について情報提供

- 学認クラウドゲートウェイサービスは利用申請をいただいた機関に対してのみ提供しています
 - 機関の担当者（=IdP管理者）が初期設定することが前提のため
 - ただしグループ管理機能は性格が異なるため未申請機関にも提供

- 利用申請受付中！学認に参加している機関の方は是非！
 - <https://cloud.gakunin.jp/cgw/>
 - 無料でご利用いただけます
- お問い合わせ・ご相談：cld-gateway-entry@nii.ac.jp



<https://cloud.gakunin.jp/>